

# 総合戦略施策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
概要	児童生徒の確かな学力とたくましく生きるための体力の向上を柱に、特色ある学校づくりによる教育内容の充実と、地域活動への参加等の体験活動を通じた地域社会との連携を推進する。 また、児童生徒一人ひとりの成長に寄り添ったきめ細やかな支援を行うとともに、将来を見据えた学校教育、学校施設のあり方について検討を行う。

## 数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町の人口	28,479人 (平成27年9月1日現在)	27,168人以上 (平成31年度実績値)
二宮町の社会移動数	転出超過213人 (平成26年度住民基本台帳)	転出超過58人以下 (平成31年度実績値)

## 重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移				目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30		
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	57.1%				上昇	
これからも運動を続けたいと思う児童生徒の割合	60.1%				上昇	
【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)						

## 総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
子どもたちの「生きる力」創造プロジェクト	I
成果や課題 (箇条書き)	平成28年度から本格的に取り組むコミュニティ・スクールの導入準備と小中一貫教育の検討を含む、将来に向け二宮町の教育を描いていく上で重要なプロジェクトであり、強力で推進する必要がある。 地域や様々な人々の多様な力を借りて、学校づくりを行い、児童・生徒を育てていく取組みであり、地域や人々との「連携」や「共有」を特に重視し、プロジェクトを進める。取組みを進めるに当たり、学校における課題や、コミュニティ・スクール等の新たな取組みの必要性などについて、早い段階で地域等との共有、共通理解を深めることが重要である。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)  
 I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する  
 II：一部、事業を改善する必要がある  
 III：プロジェクト全体を見直す必要がある  
 IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	平成27年度は、主な実施計画事業の本格的な実施に向けた準備を行った。 「支援教育推進事業」等従前からの事業について引き続き効果的な取組みを進めるとともに、コミュニティ・スクールの導入に関して学校運営協議会準備委員会や研修会の開催に向けた検討を行うなど、次年度以降を意識した事業運営に努めることができた。

## 今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	町のこれからの学校教育のあり方を検討するにあたって、家庭や地域との共通理解を図ることは非常に重要であり、今後の課題である。積極的な情報提供と意見交換を進めることで町立学校の展望が開かれ、重要業績評価指標に表された教育効果にもつながっていくと考え、施策を推進する。
----------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input checked="" type="checkbox"/>	5:その他 [KPIの見直し]

意見等

二宮の強みを活かした魅力あるくらしを提案し、新しい人の流れをつくるために、特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成は重要な施策であることから、「小中一貫教育」や「コミュニティ・スクール」等の新たな取り組みに向け、学校や地域、関係機関等、相互の情報共有や共通理解を深める必要がある。

また、KPIとして設定した「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」及び「これからも運動を続けたいと思う児童生徒の割合」については、それぞれの指標について、調査の結果からの引用であることが分かるよう、「将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合」及び「これからも運動を続けたいと思うと回答した児童生徒の割合」に指標名の表現を変更する。